

♪ プログラム ♪

花 作詞：武島羽衣 作曲：滝廉太郎
見わたせば 作詞：柴田清熙 作曲：ルソー
荒城の月 作詞：土井晩翠 作曲：滝廉太郎

あめふりくまのこ 作詞：鶴見正夫 作曲：湯山 昭
さっちゃん 作詞：阪田寛夫 作曲：大中 恩
やぎさんゆうびん 作詞：まどみちお 作曲：團伊玖磨
犬のおまわりさん 作詞：さとうよしみ 作曲：大中 恩

おぼろ月夜 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
夏は来ぬ 作詞：佐々木信綱 作曲：小山作之助
あかとんぼ 作詞：三木露風 作曲：山田耕作
冬の星座 作詞：堀内敬三 作曲：ヘイズ

オムブラ・マイ・フ 作曲：ヘンデル
ロンドンデリーの歌 アイルランド民謡
アメージンググレイス 黒人霊歌

オペラ『フィガロの結婚』より
“もう飛ぶまいぞこの蝶々”

作曲：モーツァルト

花（すべての人の心に花を）

作詞・作曲：喜納昌吉



池田直樹（バス・バリトン）

東京芸術大学首席卒業、同大学院修了。

中山悌一、小島琢磨、ハンス・ホッターの諸氏に師事。第10回東京国際音楽コンクール第2位受賞。第7回ジロー・オペラ賞受賞。1980～81年、文化庁芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。NHK「きょうの料理大賞1999」で部門第1位を受賞。著書：「声の力」河合隼雄、阪田寛夫、谷川俊太郎氏との共著（岩波書店）

二期会オペラ劇場公演で、モーツァルトやワーグナーの作品の重厚な役で出演する一方、オペレッタの公演では軽妙な演技で喝采を浴びるなど、主要な役柄を見事に演じ分け、いずれも評価は高い。新国立劇場公演でも多数出演し、我が国オペラ界では欠くことのできない存在である。また、独唱会、ならびに主要なオーケストラとの宗教的作品の演奏会他、NHKのFM放送や、創作テレビ・オペラにも多数出演。オペラの制作・演出家、さらには演奏会のプロデューサーとしても数々の公演を成功させている。また俳優としても「朝日舞台芸術賞グランプリ」を受賞する等活躍の場を広げている。日本大学芸術学部教授、二期会会員。



池田早苗（メゾソプラノ）

東京芸術大学卒、同大学院修了

1987年に、池田直樹と、子供達のためのコンサート「子供に本気でコンサート」を開き、1991年、1993年にも開催。1989年からは独唱会も企画し、「私の出番です」というタイトルでの演奏会を1989年、1993年に開き、その後も、「池田早苗のさわやかコンサート」とタイトルを改め1994年から2011年まで毎年開催している。その他、自宅でもサロンコンサートを企画したり、池田直樹との「二重唱はいかが」と題した、名曲を二重唱でお楽しみ頂くコンサートや、実兄の絵本作家・岩村和朗の美術館での「いわむらかずお美術館コンサート」、二胡奏者の曹雪晶氏とのジョイント・コンサートを開き、さらに養護学校や老人施設などでもボランティアとしての演奏を重ねている。



羽石道代（ピアノ）

東京芸術大学附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学を首席で卒業、安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。同大学院を首席で修了、クロイツァー賞受賞。

新進音楽家演奏会コンセールマロニエ21ピアノ部門入選、第10回日本室内楽コンクールで佐々木絵理子(Vn)とのデュオで入賞、やちよ音楽コンクール・ピアノ部門第1位ならびに市長賞受賞。その後ソリストとして奏楽堂デビューコンサートシリーズにてソロリサイタルを開催、藝大フィルハーモニア、八千代交響楽団、栃木県交響楽団と協奏曲を共演。また伴奏者としてジャン＝イヴ・フルモー氏(Sax)他、国内外のソリストと共演。日本フルートコンベンション2007 TOKYO&第1回ワールドフルートコンgressでは公式伴奏者をつとめた。1999年より企画・演奏団体OCTAVEを立ち上げ、宇都宮・東京で演奏会を開催。今までにピアノを大山秀子、仲山笑子、多美智子の各氏に、室内楽を野平一郎、山崎伸子の各氏に、伴奏法を山田武彦氏に師事。

現在、東京芸術大学、宇都宮共和大学、日本体育大学で教鞭をとる。